

【現場調査報告書】

〇〇様邸

現場住所： 〇 〇 〇 〇

平成18年1月6日



MIWA-LAND

(株)ミワランド

沼子店	〒249-0004	沼子市沼間3-1-12
横須賀店	〒238-0035	横須賀市池上7-1-5
戸塚店	〒244-0003	横浜市戸塚区戸塚町3021-1

現場調査報告書

店長	担当者

工 種	基礎補強診断
目 的	1. 室内側基礎強度確認 2. フーチング 有・無 3. 筋交い 有・無 4. 施工方法の確認
現調内容	1. 既存基礎強度、測定不可能箇所室内床下にて確認！ 2. 掘削可能箇所、フーチング確認 3. 床下にて構造確認、フーチング 有・無 4. 現状確認、施工方法選定
結 果	1. シュミレットハンマー試験にてコンクリート圧縮強度確認 結果　： 24～26kgf/cm ² 2. 旧基礎にはフーチング無し、増築部基礎フーチング有り 3. 竹小舞下地の土壁、筋交い無し（耐震補強必要場所床下にて目視確認） 4. 耐力壁が不足している為、前回指定箇所の補強を施工する事をおすすめ致します。
結 論	耐震壁の不足の為耐力壁の造作及び既存壁へ筋交い補強を行なう事をおすすめします。 基礎補強はフーチングの無い箇所を別紙補強図にて補強を、お勧めします。
添付資料	<別紙参照> 現状写真 基礎補強計画図
備 考	

※担当 → 店長 → お客様

現状写真



床下から確認した結果、筋交いは入っていませんでした。



★ 多少の劣化有り、コンクリート圧縮強度は24~26kgf/cm²でしたので強度は問題ありませんでした。しかし40年前の基礎構造にはフーチングが無い為補強をおすすめします。



シュミレットハンマー試験
コンクリート圧縮強度確認状況



基礎コンクリート確認
フーチング無し



基礎厚 t=41.2cm

●精密耐震診断表 詳細内容●

2005年04月15日

【建物概要】

物件コード : 0 物件名 : ○○様 建築地 : 備考 : 担当 小林 階数 : 2階建て 1階床面積 : 24.84㎡ 屋根 : 重い 地盤 : 良い・普通	2階床面積 : 51.34㎡ 屋根形状 : 切妻タイプ 風力 : 普通
---	---

A. 【地盤の種類判定基準】

良い・普通地盤	洪積台地または同等以上の地盤（下記以外のもの）
やや悪い地盤	30mよりも浅い沖積層、埋立地および盛土地で大規模な造成工事（転圧・地盤改良）によるもの
非常に悪い地盤	30mよりも深い沖積層（軟弱層）、海・川・池・沼・水田等の埋立地及び丘陵地の盛土地で小規模な造成工事によるもの、液状化の可能性のあるところ

A	1.000
---	-------

B×C. 【建物の形・壁の配置】

(◎優 ○良 △普通 ×注意)

階	方向	偏心率	壁心率	耐力壁直下率	隅角部両端壁無ヶ所数	隅角部片端壁無ヶ所数
1	X	0.10 △	0.09 ○		0 ◎	1 ○
	Y	0.02 ◎	0.11 △			
2	X	0.08 ○	0.12 △	0.80 ◎	0 ◎	3 △
	Y	0.13 △	0.14 △	0.80 ◎		

※建物の重さの中心を重心と言ひ、壁の強さの中心を剛心、壁の位置の中心を壁心と言ひます。
 偏心率は重心と剛心のズレ、壁心率は重心と壁心のズレを数値で表したもので、ズレが少ないほど値が小さくなります。
 ※耐力壁直下率とは、上階の耐力壁の下に下階の耐力壁がある割合を示した数値です。
 ※隅角部両端・片端壁無ヶ所数とは、建物の各角のうち両側または片側に壁の無い部分のヶ所数です。

【判定基準】

判定	偏心率・壁心率		耐力壁直下率		隅角部両端壁無ヶ所数	隅角部片端壁無ヶ所数
◎優	0.05 以下		0.50 以上		0.00	0.00
○良	0.05 超	0.10 以下	0.40 以上	0.50 未満	1.00	2.00
△普通	0.10 超	0.15 以下	0.30 以上	0.40 未満	2.00	3.00
×注意	0.15 超		0.30 未満		2.00 超	3.00 超

【評点への変換】

偏心率	変換
0.15未満	1.0固定
0.15以上 0.45未満	1/ (3.33×偏心率 + 0.50) で計算
0.45以上	0.50固定

各方向で算出

X方向	1.000
Y方向	1.000